



主なトピックス

- ★岩手大学男女共同参画推進計画(第2期)の開始にあたって
- ★次世代育成サポーターが、がんちゃんすくすく保育園で活動を開始しました
- ★第29回「男女共同参画推進のための学習と交流の会」を開催しました



岩手大学男女共同参画推進計画(第2期)の開始にあたって

これまでの取組を継続・発展しつつ、積極的に男女共同参画を推進するために、岩手大学男女共同参画行動計画(第2期)(実施期間2018~2022年度)を策定しました。これを機に、菅原悦子男女共同参画推進室長より、男女共同参画推進に向けたメッセージをお伝えします。



岩手大学は、2008年に男女共同参画推進室を設置して以来、学長のリーダーシップの下、男女共同参画推進に積極的に取り組んできました。2013年から実施した「岩手大学男女共同参画行動計画」では、「男女共同参画推進宣言(学長宣言)」に基づき、男女共同参画の視点をふまえた大学運営、両立支援の環境整備、学生への男女共同参画の教育、研究における男女共同参画推進、男女共同参画の地域社会への発信を掲げ、多角的かつ包括的に取り組みを進めました。これらの取り組みと、2010年から切れ目なく採択されている文部科学省科学技術人材育成費補助事業により実施する女性研究者支援が補い合う形で男女共同参画が推進されています。2018年3月には、念願の学内保育所が、地元銀行との連携により、岩手大学・岩手銀行保育所「がんちゃんすくすく保育園」として開園しました。

しかし、これらの持続した取り組みにも関わらず、本学においては、女性研究者比率は全国平均を下回り、事務系職員の管理職に占める女性比率も一けた台であるなど、まだまだ努力が必要です。女子学生が進学や就職をしても、活躍する女性を身近に感じられなければ、将来に希望を持つことができません。第2期では、性別のみならず、年代・国籍・性のあり方等、多様性をもつ学生や教職員が学びやすく働きやすい環境づくりに取り組

みます。さらに、男女共同参画推進において、地域を先導することも掲げました。女性が活躍できる豊かで楽しい大学・地域づくりに力を合わせて取り組んでまいりましょう。

岩手大学理事・副学長・男女共同参画推進室長 菅原悦子

岩手大学男女共同参画行動計画(第2期)

- 男女共同参画の視点を踏まえた大学の運営を推進する
- 1 教職員が仕事と生活を両立できる環境を整備し職場における男女共同参画を推進する
- 2 次世代を担う学生に向けて男女共同参画にかかわる教育を推進する
- 3 教員の教育研究活動の継続的な発展を支援し研究における男女共同参画を推進する
- 4 協力と互恵の精神に基づく持続可能な共生社会の形成に向けて男女共同参画の推進を地域に発信し、地域の男女共同参画を先導する

次世代育成サポーターが、がんちゃんすくすく保育園で活動を始めました

3月に開園したがんちゃんすくすく保育園で、5名の次世代育成サポーターが活動を始めました。活動は2つで、1つは、保育補助です。放課後、園児のお世話や遊びの補助、園内外の環境整備等にあたっています。もう1つは、おもちゃづくりです。保育園のご希望により、新聞紙を詰めた牛乳パックをつないで、拵げてくぐったり、折りたたんで形を変えたり、重ねて中に入ったりすることができるトンネルおもちゃを製作しています。6月に保育園に届け、園児の皆さんと一緒に遊ぶ予定です。



がんちゃんすくすく保育園だより

がんちゃんすくすく保育園では、4月からの新入園児を加え、構成員の0歳~2歳のお子さん11名が日々健やかに生活し遊び成長しています。園児定員12名に対して、園長の下、保育士6名、調理師1名、事務員1名、保育補助員1名という「児童福祉施設最低基準」の配置基準を上回る10人態勢での保育に加え、次世代育成サポーターによる活動も始まり、構成員の仕事との両立支援とそれを通じた地域の女性活躍促進への寄与、子どもの発達保障、そして学生の成長につながる活動機会の提供という保育所設置の趣旨が実現しつつあります。

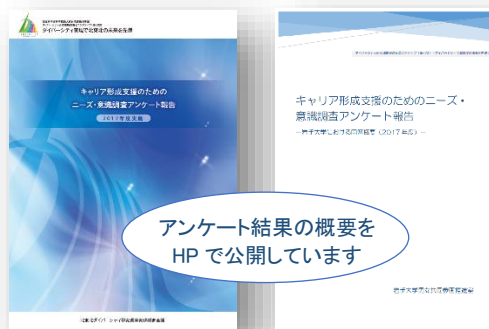


第29回「男女共同参画推進のための学習と交流の会」を開催しました

男女共同参画推進室では、5月9日に、「キャリア形成支援について考える」(第29回 男女共同参画推進のための学習と交流の会)を図書館2階生涯学習・多目的学習室にて開催しました。「男女共同参画推進のための学習と交流の会」は、教職員や学生が男女共同参画に関する理解を深めるとともに、男女共同参画推進に関心を持つ人どうしのネットワークをつくる／強化することを目的に2010年から開催しているものです。今回は、昨年度、学生を対象に実施した「キャリア形成支援のためのニーズ・意識調査アンケート」の集計結果を分析しながら、学生が求めるキャリア形成支援について、男女共同参画推進の視点から考える機会とし、本学教職員11名、他機関教職



員9名が参加しました。前「記調査では、キャリア支援ニーズに、性別や文系/理系の別、大学/高専、課程の別等によって違いがあることが明らかになり、これを手掛かりにキャリア形成支援の意義や有効な支援のあり方について、活発な意見交換が行われました。参加者からは「学生のニーズが意外に多岐にわたることがわかった。更なる対応が必要と感じた。」「学生が安心して大学院進学を目指せる環境作りは重要だと感じた」等の感想が寄せられました。これらのことを、今後のキャリア形成支援に活かしていく予定です。



今年度も次世代育成サポーターを養成します

次世代育成サポーターの養成は7期を重ね、2017年度度末までに74名の学生が学長よりサポーターの認定を受けました。2018年度も第8回養成講座を開催し、学内や地域で子育てを支援するとともに、その経験を自分の成長にも活かせる学生を養成します。

2018年度次世代育成サポーター養成講座

1日目 講義 <DVD視聴による受講も可>

2018年8月8日(水)9:00~15:50

大学会館2階 第5集会室

- 子どもと楽しむ食育
- 子どもの心理
- 子どもの発育・発達
- 子どもの健康・病気



2日目 講義と参加型公開講座

2018年9月29日(土)9:20~16:40

学生センターA棟2階 G2-B 演習室(予定)

- 子どもと保育者の救命講習
- 遊びのワークショップ
- 地域の人と子育て支援を考える
パネルトーク&グループワーク
(参加型公開講座)



実習

2018年10月

- がんちゃんすくすく保育園
- 上田学童保育クラブ



着任のご挨拶

このたび、男女共同参画推進室に着任いたしました特任研究員の内藤和美と申します。主に、ワーク・ライフ・バランス支援と学生の活動支援を担当します。年来、ジェンダー平等に関する教育・研究とプロジェクトに従事して参りました。岩手大学男女共同参画推進室の一員としてその仕上げ/締めくくりができることはこの上ない喜びです。男女共同参画推進へ組織的取組みの下、担当業務を通じて、属性や立場に関わらず誰もがワーク・ライフ・バランスと、能力の開発発揮機会、意思決定への参画機会を得ることができる大学づくり、地域への波及・展開に奉じたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



男女共同参画推進室 Web サイトでご紹介しています
岩手大学の出産・育児・介護に関する制度

<https://www.iwate-u.ac.jp/gender/wlbshien/index.html>

岩手大学の女性研究者支援策

<https://www.iwate-u.ac.jp/gender/kkshien/support.html>

ワーク・ライフ・バランス相談

男女共同参画推進室では、ワーク・ライフ・バランスやキャリア形成に関するご相談に、専門性をもつ相談員が応じています。ぱるんひろば定期開放時には相談員が在室します。

学内保育スペース ぱるんひろば

岩手大学の学生・教職員の、0歳から小学校3年生までのお子さん、お孫さんの保育や学会等の際の託児に利用頂けます。
(要登録)

定期開放 毎週金曜日 12:00~13:00

利用・登録説明会 毎月第2金曜日 12:10~12:50

事前申込不要です。見学も歓迎!

https://www.iwate-u.ac.jp/gender/parun/parun_guide.html